

命を守るがん検診

受診低迷に危機 早期発見が命を救う

沼田利根医師会会長 林秀彦さん

検診の意義について

「早期発見」と「予防は治療に勝る」ことを強調します。日本人の2人に1人はかかるといわれている「がん」においては、初期のがん患者の多くは無症状であるため、早期発見に検診が有効です。進行した状態で見つければ、治療は難しくなり、当事者と家族は大変な苦勞を強いられることとなります。特定健診はメタボリックシンドロームや高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病を未然に拾い上げ、病気になるように指導します。

受診率の低下 どう受けとめるか

国ががん検診受診率の目標を60%に掲げるところ、市は検診項目の多くが10%未満です。症状がない、自分は健康という思い込み、忙しい、面倒といった理由が、未受診の一因でしょう。痛い、苦しいとなれば病院に行きますが、症状がなくて体調が悪いと思っっている人が多いのではないのでしょうか。コロナ禍での緊急事態宣言の発令が出たときは、さらに受診率が落ち込み、病気が進行する患者さんが増えました。

医療技術が発達し、がんの早期発見の約9割は治るようになりました。手術をしなくても内視鏡で対処できるものもあります。早期で症状はまず出ないので、年に1回の受診は、早期発見には不可欠なのです。

医療機関のかけつけがない若年層や平日仕事をしている人にとっては、かかりやすいでしょう。

自治体の呼び掛けを強化 各市町村では、健康増進法に基づく事業として、住民を対象にしたがん検診と特定健診・人間ドックを実施しています。年齢などの条件を満たせば受診でき、本人に案内が届く仕組みです。市の特定健診は無料で、胃、大腸、肺、子宮頸部、乳がん検診の自己負担額は500円から2千円です。乳がんは21歳、子宮頸がんは41歳の女性に、無料クーポン券を配布しています。集団検診は月によっては日曜日も行っており、

林秀彦（はやしひでひこ） 上原町在住。医療法人順愛会 角田外科医院 院長。令和4年6月から沼田利根医師会会長

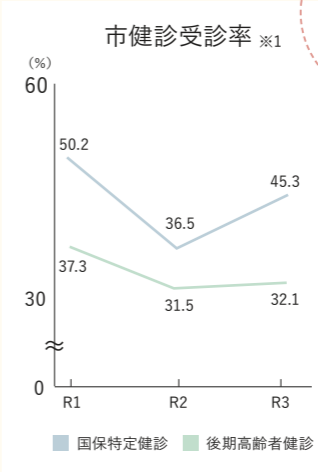
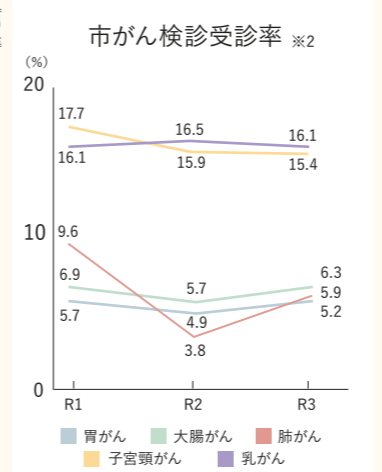


市が実施する検診などの一覧がまとまったガイドブック(右)。受診シールには受診できる検診に、住所氏名などが印字されている(下)

令和5年度 乳がん検診

〒378-0044
住所 沼田市下之町888
フリガナ ヌマタ ハナコ
氏名 沼田 花子
生年月日 昭和57年2月9日(42歳) 性別 女

コロナ禍で受診率が大きく下がり、コロナ前の水準に達していない



※1 KDBシステムデータ
※2 県感染症・がん疾病対策課資料(市町村以外の検診は含まない)
※3 全がん協部位別臨床病理別5年相対生存率(2011-2013年診断症例)

新型コロナウイルス感染拡大による受診控えが追い打ちをかけ、がん検診などの受診率の減少が問題視されています。がんは国民の2人に1人が生涯のうちにかかるとされ、新たな患者は毎年100万人に上っています。検診の現状などを解説するとともに、定期的な受診の必要性についてお伝えします。

がん検診の項目など

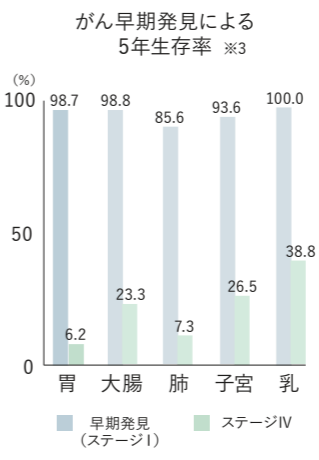
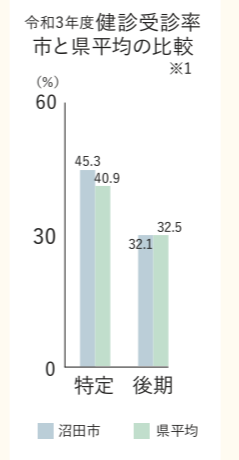
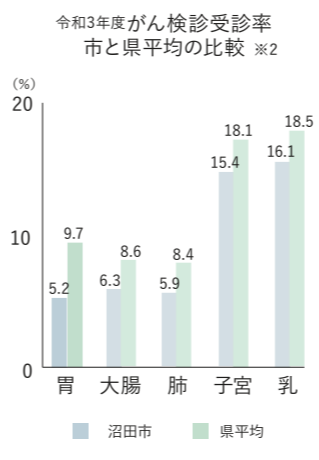
※記載の金額は自己負担額

検診(健診)に関するご意見はこちらから

先月、「検診等のお知らせ」を、緑色の封筒で郵送しました。健診・検診は複数組み合わせ受診できます。受診忘れなども確認しましょう。

<p>乳がん</p> <p>40歳以上の女性 1,000円</p> <p>※偶数年齢。前年度未受診の奇数年齢を含む</p>	<p>子宮頸がん</p> <p>20歳以上女性 500円</p> <p>※偶数年齢。前年度未受診の奇数年齢を含む</p>	<p>結核・肺がん</p> <p>〈胸部〉 40歳以上 500円 ※65歳以上無料</p> <p>〈喀たん〉 50歳以上 500円 ※喫煙指数600以上</p>
---	--	---

<p>健康診査 (特定健診、後期高齢者) 市健診</p> <p>対象者は受診シールに印字</p>	<p>肝炎ウイルス</p> <p>40歳以上 無料</p>	<p>前立腺がん</p> <p>50歳以上の男性 1,000円</p>
<p>腎機能</p> <p>40歳以上 無料 ※健康診査を受ける人</p>	<p>大腸がん</p> <p>40歳以上 600円</p>	<p>胃がん</p> <p>〈内視鏡〉 50歳以上 2,000円 ※偶数年齢。前年度未受診の奇数年齢を含む</p> <p>〈バリウム〉 40歳以上 800円</p>



県平均と比較して市のがん検診はいずれも下回っている

国の受診率目標はがん検診60%、特定健診70%で市はいずれも大きく乖離している

がん進展度(ステージ)は腫瘍の大きさ(T)、リンパ節転移の有無(N)、遠隔転移の有無(M)により大きく5つに分けられ、がんの広がり具合を示す(0~IV期)